

2017年9月24日（日曜）～27日（水曜）

番外編：おじさん二人・「初めての槍ヶ岳（3180m）に挑む」

その②・9月26日（火曜）～27日（水曜）

～ Report by 石井～

26日（火曜）は、昨日の松延さんの歩きが順調だったので、以下のプランにした。

「槍ヶ岳山荘～大喰岳～中岳～南岳」を縦走し「大キレット」を見学、南岳小屋でランチの後、「横尾尾根」を下り「天狗池～天狗原」を経由、槍沢ロッヂに宿泊する。

行程：8時間40分 コースタイム：7時間 3000mの稜線歩きと紅葉狩りだ



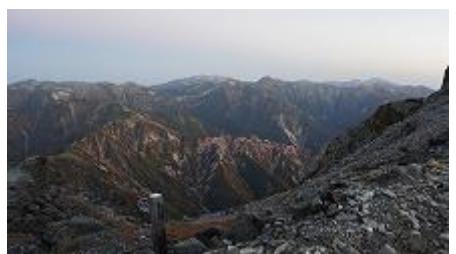
5:25・夜明けの槍ヶ岳。既に登山者のシルエットが見える



常念岳方向



大喰岳方向



双六岳方向



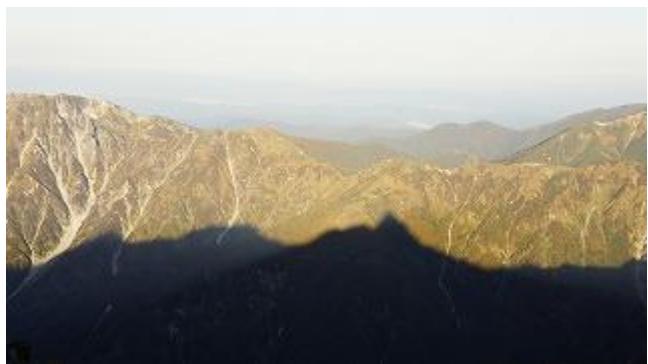
5:36・陽が射し始めた。ご来光だ、今日もいい天気になりそうだ



5:45・朝食（7:00までに食べればOK）



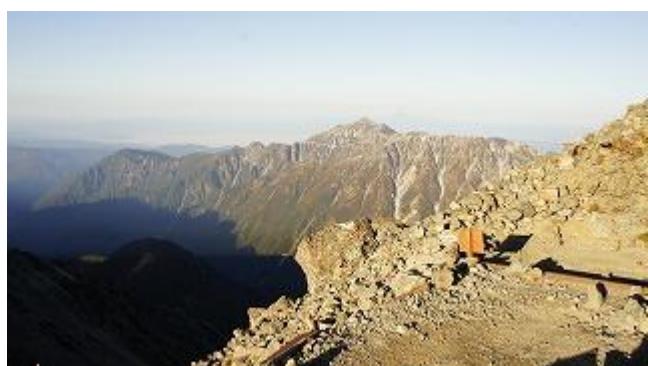
6:29・小屋前で出発前の記念撮影



歩き始めると「影槍」。振り返ると槍さんに朝陽が降り注いでいた



大喰岳への道標



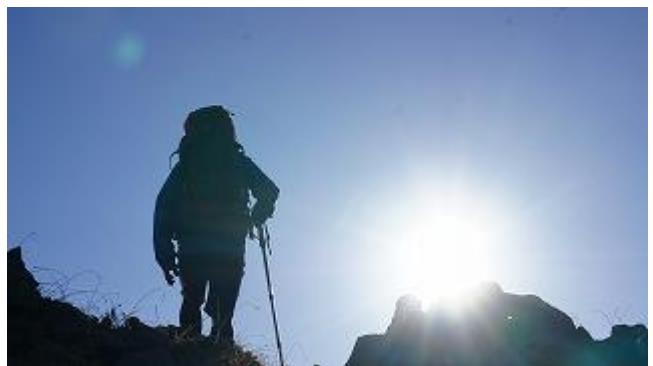
笠ヶ岳がクッキリと見える



この縦走路は、何処でも「槍ヶ岳が見守っていてくれるように感じる」とは、松延さんの弁



7:14・「大喰岳 (3101m)」



ここの登山道にも「1100m」の道標



暫く行くと、前穂や北穂の稜線が見え隠れする



槍ヶ岳周辺は、いたるところに雪渓が残っている



中岳の直下にはこんなところも



8:01・「中岳（3084m）」  
昨日、槍ヶ岳に登る事が出来たので  
1時間以上出発が早くなっている  
南岳小屋のランチは、10:30~だが  
「まあ、いいか」



中岳と南岳の中間地点



南岳・北穂・奥穂などを望む



爽快な稜線歩きが楽しめる



「ハクサンイチゲ」？の名残



「チングルマ」の種子・綿毛



3000mの縦走路

右方向、常念から大天井・燕が見えている。遠くに後立山の峰々も

3時間余りの道のりだが、歩いてみるときっと気に入ると思う



思わずこんなポーズも



中岳を下ると、「天狗原」への分岐が現れた。南岳小屋でランチをした後に、ここへ戻って下る



南岳 (3032m) は、あっけない



小屋が見えて来た。振り返れば、東鎌尾根がよく見えていた



9:50・南岳小屋。10:30 迄のんびりだ



獅子鼻展望台へ「大キレット見学」に行く



獅子鼻展望台から見た「南岳小屋～南岳～中岳」・ここでも槍の穂先が覗いている



「大キレット」・・・



10:30・今日のランチ



## ハッシュドビーフ（松延さん）



## 焼き鳥丼（石井）



11:28 • ランチの後に、天狗原分岐に戻り下降した



天狗原へ標高差500m程を下る。急でザレザレ。梯子・クサリあり  
結構、気を遣う登山道だった  
奥穂のザイテングラートより面倒な感じがした



山と高原地図に「北穂の眺めが良い」とあったがその通りだった。槍も変わらない



「横尾尾根のコル」に到着。左の天狗原方向へ下りだすと紅葉が目立って来た



槍さんも、いきなりのお化粧だ



「天狗池」



ツバメ岩？



今日一日を象徴するような空だ



14:04・天狗原分岐に到着・槍沢を下る



これは何の花・実だろうか？



パパ平通過



15:31・槍沢ロッヂ到着（宿泊）・入浴

部屋名「ななかまど」：7度燃やしても灰にならないほどの・・・結構、個性的な人達だった



26日（火曜）・めでたく終了

\*追伸：晩御飯で祝杯・撮り損ねた

同部屋：5名（10名定員・ゆったり）

歯ぎしり：一名

いびき・ヘッドラピカピカ・足踏み：一名

鼻ぐしゅぐしゅ（風邪？）：一名

寝言・いびき：一名

不明：一名（夜中に足を踏まれた・笑い）

27日（水曜）のプラン：「槍沢ロッヂ～横尾～徳澤～明神～上高地」

\*上高地BT～松本～帰宅（松本で蕎麦を食す）

行程：6時間50分 コースタイム：4時間40分（BT以降は含まず）



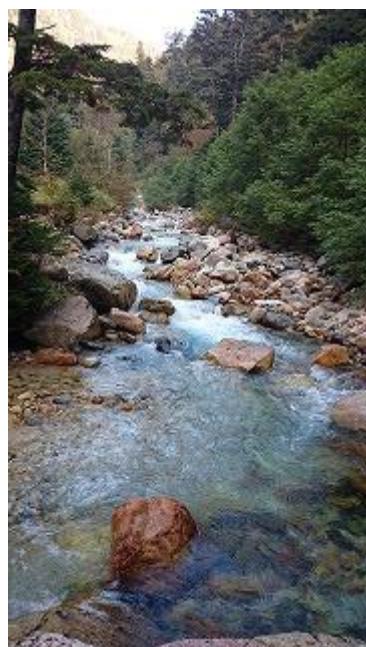
5:00・朝食（槍へ向かう人は弁当・早出多い）



6:13・ロッヂ前で記念撮影



今日もいい天気だ。あとは、帰るのみである。サクサクと槍沢を下る



横尾に到着。横尾大橋で記念撮影



徳澤・また、ソフトも食べた



キャンプサイトの紅葉が3日前より進んだ感じだ



明神



11:09・上高地・コーヒーブレイク

＜この後の写真はありません＞

上高地BT・11:30のバスで松本へ

駅近くの蕎麦屋でランチ&ビール&日本酒をいただく

14:49のスーパーあづさ22号で帰宅

「槍ヶ岳」は、老若男女・地域・国など、実に様々な人が来ており  
多くの人が憧れる山なのだと実感した山旅でした

四日間とも好天に恵まれて、山の神様・槍さんに感謝です